

学年始めと学年終わりの記入例（小学校4年生）と教員による言葉かけの例

記述を基に「どうしてそう思ったのかな」と問いかけることで、具体的な職業を挙げた理由も考えられるようにしましょう。

4年生のわたし①	名前 たき町 花子
好きなもの・こと バスケット、ぬこ、もも	
なりたい自分（将来の夢や目標） お花屋さん (みんなをえがおにしたいから) そのためにがんばりたいこと きめたことを毎日続ける (花の水やり)	
自分のよいところ・得意なこと だれにでもあいさつができること 糸をかくこと	
みんなのためにがんばりたいこと こまっている人がいたら、声をかける みんなにやさしくする	
自分の地域の好きなどころ 夏に花火大会があるところ	先生から 自分も、きめたことを毎日続けたら、 こまっている人に声をかけたりすることが、 しょうらいのちのちにつなげられるね



4年生のわたし②	名前 たき町 花子
〇どんな4年生だったか、ふり返りましょう。 ①友達と協力して勉強し ②自分の意見をはっきり ③自分のやるべきこと ④苦手なことにも、が ⑤計画的に勉強に取り組	
この1年間で、自分にはどんな力がついたと思うか書きましょう。 あきらめずに最後までやりきる力 (バスケットの試合の時、最後まで走ってがんばったから)	
この1年間で見つけた、自分のもち味（自分らしさ）について書きましょう。 たてわり班活動などで、低学年にやさしくできたので、 今までよりいろいろなことを考えて行なうことができるようになった。	
この1年間で見つけた、地域のよいところを書きましょう。 防犯はんパトロールをしているところ。 (糸巻合のじゅぎょうで安全マップをつくったときに、思っていたよりも防犯はんパトロールをしている人が多くて安全だと思った)	
先生から 自分や地域をより愛する心が広がりましたね。 おはなはら、これからもたくさん人を えがおにすることができるとね。	地域の方やお家の方から 毎朝元気なあいさつをして登校する姿 を見るたびにえがおをもらいます。ありがとう。 応援しているよ。見守り隊のO.O

「書くことがない」と言って困っている子もいるでしょう。そうした子には、これまでの様子を振り返って価値付け、あきらめずに肯定的な言葉かけをするようにしましょう。

これまでの記録を読み返して気付いたことを付け加えて更新するのも効果的です。